



<CAM ベトナム・特別レポート>

情報提供用資料

2019年12月18日

ベトナム最新トピックス (2019年12月)

1 新インデックス ～VNダイヤモンドとそのETF～

ベトナム最大の証券取引所、ホーチミン証券取引所は11月に3つの新インデックスを採用した。そのうちの1つVNダイヤモンド指数は、ホーチミン証券取引所の銘柄から10～20銘柄を選んで組成される。外国投資家の間で人気の銘柄だが、外国人保有枠(以下 FOL)が設定されているために、外国人が購入しにくい銘柄が対象となる。

このインデックスは、今後これに追従するETF(FOLにとらわれない国内運用会社が組成する)の購入を通して(これらのETF自体にはFOLは設定されない)、外国人投資家がFOLによって売買・保有が制限されている優良銘柄への投資を可能とするものである。

ベトナム人気優良株への投資がし易くなることになり、今後、海外投資家のベトナム株式市場への資金流入が大いに期待されている。

VNダイヤモンド指数 (2019年11月現在)

	銘柄	ティッカー	構成比		銘柄	ティッカー	構成比
1	FPT	FPT	15.0%	8	TPバンク	TPB	3.8%
2	モバイルワールド	MWG	15.0%	9	ダットサイングループ	DXG	3.7%
3	テクコムバンク	TCB	13.0%	10	ジェマディプト港湾海運	GMD	3.5%
4	VPバンク	VPB	12.6%	11	リー冷蔵電気工業	REE	3.5%
5	ミリタリーバンク	MBB	10.6%	12	ヴィエティンバンク	CTG	3.4%
6	フーニャン・ジュエリー	PNJ	7.7%	13	ナムロン投資	NLG	2.1%
7	カンディエン不動産	KDH	4.5%	14	コテコンズ建設	CTD	1.8%

出所：ホーチミン証券取引所

2 本年6月のMSCI分類見直し ～クウェートの格上げ後のベトナム株の構成比率～

本年6月25日にMSCIはクウェートをMSCI新興国(エマージング)市場へ格上げすると発表した。クウェートの追加は2020年6月に実施されると見込まれる。2019年12月現在、MSCIに追従する代表的なインデックスファンドには以下の5銘柄があり、その総資産合計は約21億ドル(約2,300億円)である。

11月末現在のMSCIフロンティア市場におけるベトナムの構成比率は約17%であるが、クウェート(同36.9%を占める)が新興国市場へ格上げとなり、フロンティア市場への他からの参入が



ない場合、クウェートの構成比率分の多くをベトナムが埋めることになる。ベトナム現地の大手証券会社の予測ではクウェート格上げ後のフロンティア市場におけるベトナムの構成比率は25-30%程度であるとされている。構成比は現在より8-13%の増加が見込まれるが、単純計算でも上記ファンドだけでも約184-299億円の買い需要が起きる上、実際には他のアクティブファンド等の買いも加わり、より大きな買い圧力が生じると予想される。

MSCI フロンティア指数に連動する代表的ファンド

ファンド名	純資産(\$ mil.)
MSCI Frontier Markets Index (Schroders Frontier Markets)	922.50
MAGNA New Frontiers Fund	590.93
T.Rowe Price Frontier market Equity	232.76
Morgan Stanley Institutional Fund Frontier Markets Portfolio	146.45
Coeli SICAV I -Frontier Market Fund	219.00
合計	2,111.64

(2019年12月12日の純資産、Coeliは10月末の数字)

出所：ブルームバーグ及びHPのデータを基にキャピタル アセットマネジメントで作成

3 証券法の改正 ～新証券 NVDR(議決権なし預託証券)～

11月28日の国会でNVDRやDRを当該法律上の「証券」に加える改正証券法が可決された。この改正によって、2020年5月に関連法案である投資法や企業法の改正を待ち、2021年1月1日以降、これまで長らく議論の対象となってきたNVDRの発行が可能となる見込みである。

NVDRは、株主としての議決権はないが、配当など株式と同等の経済的権利は付与される預託証券である。NVDRはタイでは2000年にタイ証券取引所に導入されており、株式市場の流動性拡大に大きく貢献している。株式に対し外国人投資家の企業出資制限があるタイではタイ証券取引所上場株すべてに対しNVDRが発行されている。NVDRの値動きはタイ人向けのL株に連動し、流動性は外国人向けのF株より一般的に高い。(F株の売買はL株の売買とは分離されており、一般的に流動性が低い上、同一銘柄であってもL株より割高な場合が多いと言われている)NVDRは外国人も制約を受けることなく売買ができるので、外国人はこのNVDRを購入することが一般的で、金融機関も外国人にはNVDRの購入を推奨していると考えられる。

ベトナム証券市場でもNVDRが発行されれば、外国人にとって売買の制約があるFOL銘柄についても自由な売買が可能となり、海外資金の同市場への流入が期待されるとともに、ベトナムにとっての念願であるMSCI新興国への格上げを後押しすることになると思われる。

以上